

登録団体活動紹介

名取の環境を守る会



🌿 共に健やかな未来へ

電磁波は色も臭いもなく、目に見えるものではありません。多種多様な電化製品の出現により、便利で豊かな生活を送れる一方で、携帯基地局・変電所・送電線などの設備や製品そのものから浴びる電磁波に反応することで、鬱や頭痛・吐き気・皮膚の湿疹などといった症状を訴え、辛い思いをしている「電磁波過敏症」の方がいるということも事実です。

電磁波が体に悪影響を及ぼすことを懸念し「名取変電所と健康を考える会」として啓発活動を実施。その後「子ども達が健やかに成長できる環境を守ることは、一部地域だけの問題ではない。」という声に呼応して「愛島の環境を守る会」を発足。そして、全ての名取市民が健康であるための活動をしたいと考え団体名を現在の「名取の環境を守る会」としました。

当会は、利便性を追求し、流行をいち早く取り入れる生活スタイルが急速に浸透していると同時に、環境や健康にも影響している可能性を周知し、皆が安心して暮らせる環境を次世代に継承していくことを目的に定例会・講演会・映画上映会・電磁波や放射線の測定などの活動をしています。

🌿 啓発活動は世界へ

環境不耐症（電磁波過敏症・化学物質過敏症・シックハウス症候群など）について因果関係がまだ明確ではないとしても、症状が出る状況や対策を知ってもらう活動も行っています。中でも、北條祥子尚絅学院大学名誉教授による講演会は、国内はじめオンラインにて海外にまで広がり大きな反響を呼びました。「名取の環境を守る会の活動に、こんなにも関心を寄せていただいている方々がいてくれることを実感し、とても嬉しく思いました。」と、代表の佐々木勝さん、今野ゆう子さん、三浦信子さんは語ります。

🌿 開発とホタル

近年では珍しくなった「ホタル」ですが、昔は川内沢川にホタルが生育する自然環境が整っており、飛んでいるホタルを手で包み込めるくらいで、その美しい幻想的な光を蚊帳の中に入れては楽しんだものでした。

子どもたちが自然の中で遊ぶことは、環境に対する愛着を育み、命の大切さを学べます。このような素晴らしい里山の自然環境が名取市にもあることを、市民の方に知ってもらいたいと立ち上げたのが「ホタルを観る会」です。老若男女問わず多くの方に参加いただき、世代間交流の輪も広がりました。

ところが、近年のダム建設や周辺の森林開発は、自然に大きな影響を及ぼしています。山の生きもの・水辺の生きものの生存できる環境は激減し、ホタル減少の一因にもなると心を痛めています。皆がお互いの健康や環境に配慮することで、安全かつ便利な生活は実現できます。次世代を担う子供たちへ、安心して安全な生活を継承するためにも、一緒に環境保全に取り組みしましょう。私達全ての世代の課題です。若い方も大歓迎です。



【講演会】

【現地視察】

問 合 先：名取の環境を守る会
共同代表：佐々木 勝 今野 ゆう子
☎ 080-1678-7314（板橋）
E-mail：siroufutaisyou4.7@gmail.com

